



2019

Mini Disclosure

HOKUHOKU REPORT

ミニディスクロージャー誌 2019年3月期・営業のご報告



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ[®]
Hokuhoku Financial Group, Inc.

お客さま・地域社会との共通価値を創造する



取締役社長 **庵 栄伸**
(北陸銀行 頭取)



取締役副社長 **笠原 晶博**
(北海道銀行 頭取)

目 次

ごあいさつ/中期経営計画	02
業績ハイライト	05
グループの概要	09
ネットワーク	10
ほくほくフィナンシャルグループの ESG・SDGsへの取り組み	11
株式のご案内	18

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄

社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

皆さまには、日頃よりほくほくフィナンシャルグループおよび当社グループ会社に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループを取り巻く経済環境は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題、その影響による輸出の減少等、世界経済、国内経済ともに不透明な要素を抱えており、引き続き将来の予測が難しい状況となっております。

金融の分野においては、低金利環境の長期化、人口減少、高齢化の進展、デジタライゼーションの加速等、環境は厳しさを増すとともに変化し続けており、金融機関は従来のビジネスモデルからの変革による利用者の利便性向上と更なる経営の合理化への対応が求められています。

このような環境変化に対応できる新たなビジネスモデルの構築を目指し、本年度より新中期経営計画「ALL for the Region」をスタートいたしました。

前中期経営計画の達成状況

前中期経営計画の最終年度であった2019年3月期の連結当期純利益は、計画を13億円上回る243億円となりました。

この3年間を振り返りますと金融機関にとっては、非常に厳しい環境が続きました。顧客本位の考え方を最優先に掲げ、お客さまのニーズや課題を的確に捉えることにより資金需要をしっかりと取り込むことで貸出残高は順調に増加しましたが、金利低下の要因から貸出金利息は減少傾向が続きました。また、有価証券運用についても国債の大量償還等により利息配当金が減少しました。

一方で効率化・生産性向上への取り組みにより経費削減に努め、国内経済の堅調な回復もあり、与信関係費用が計画を下回ったことから、連結当期純利益は目標を上回る結果となりました。

これもひとえにお取引さまや株主の皆さまのご支援ご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。

連結／2行合算(億円)	2018年度計画	2018年度実績	計画比
預金平残(NCD除く)	105,600	110,868	+5,268
貸出金平残	77,600	82,230	+4,630
コア業務粗利益	1,345	1,257	▲87
経費	930	865	▲64
コア業務純益	415	391	▲23
信用コスト	60	46	▲13
親会社株主に帰属する当期純利益	230	243	+13
(連結)自己資本比率	9.55%	9.09%	▲0.46%
コア業務粗利益ベースOHR	69.14%	68.85%	▲0.29%

新中期経営計画“ALL for the Region”について

新中期経営計画“ALL for the Region”では、当社グループの目指す姿「地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、共通価値を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループ」の実現に向け、「地域社会発展への貢献」「未来への進化・変革」「グループ総合力の発揮」という柱を掲げ、各種施策に取り組んでまいります。

法人マーケット戦略においては、金融仲介機能発揮と法人コンサルティング強化を重点施策として取り組むことで、プライムエリア（北陸+北海道）における事業性貸出の増強および法人ソリューション収益、外為関連収益等の非金利収入の増加を目指してまいります。

個人マーケット戦略においては、預かり資産・ローン推進それぞれにおける個人コンサルティング強化と個人取引基盤の拡大を重点戦略として取り組むことで、個人預かり資産の保有先数および残高の増加、住宅ローンの増強を目指してまいります。

デジタル化・FinTech(フィンテック)戦略においては、お客さまサービスと当社グループ内の業務両面においてデジタルバンキング機能を強化するとともに、地域のキャッシュレス化を推進することで次世代に対応した地域金融機関を目指してまいります。

地域社会活性化戦略においては、地域金融機関として地方創生への貢献やESG(環境・社会・ガバナンス)・SDGs(持続可能な開発目標)への対応に積極的に取り組んでまいります。

市場・有価証券運用戦略においては、国債の大量償還による有価証券利息の減少をカバーすべく運用の多様化により収益の増強と安定化を目指してまいります。

リスク管理・コンプライアンスへの取り組みにおいては、更なるガバナンスの強化を目指し、RAF(リスクアペタイト・フレームワーク)を活用した経営戦略の策定やリスク管理体制の整備を目指してまいります。また、多様化する様々なリスクに対応するため管理体制を強化してまいります。

業務改革・店舗最適化・人財活用戦略においては、新技術利活用・体制再整備により経費構造の最適化を図りながら、当社グループ職員がやりがいと誇りをもって活躍できる職場環境の構築を目指してまいります。

ほくほくFGグループ戦略においては、北陸銀行・北海道銀行両行のプライムエリアである北海道地区での連携の強化により、情報提供・提案等、総合力発揮に努めます。また、本部業務の集約化を進め、生産性の向上を図ってまいります。

以上により、企業価値、株主価値の向上を図るべく、グループ役職員が一丸となって取り組んでまいります。

今後ともご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

中期経営計画の概要

『ALL for the Region』

2019年4月～2022年3月

当社グループ全役職員が、「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」と、
「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、持続的に地域に貢献する体制構築に取り組む期間

目指すグループ像

地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、
共通価値を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループ



3つの基本方針

地域社会発展への貢献
と共に課題に向き合い、地域とお客さまの発展に資するソリューション提供に努める。

未来への進化・変革
技術革新やニーズの変化を捉えた金融サービスを提供しお客さまの期待に応える。

グループ総合力の発揮
グループ連携を強化するとともにグループ最適の推進・管理体制を構築する。

共通価値の創造

2022年3月期 重点指標

2021年度
(最終)

	2021年度 (最終)
本業利益(2行合算) *	220億円以上
当期純利益(連結)	220億円以上
自己資本比率(連結)	8%台維持
OHR(2行合算)	60%台維持

*本業利益については、当社独自の基準として「コア業務純益－有価証券利息損益」にて算出しております。

業績ハイライト

営業の概況

■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

	2019年 3月期	前 期 比	2018年 3月期
経常収益	1,836	27	1,809
経常利益	353	35	317
親会社株主に帰属する当期純利益	243	31	211
自己資本比率	9.09%	△ 0.40%	9.49%

当社における2019年3月期の業績につきましては、連結経常収益は前期比27億円増加の1,836億円、連結経常利益は前期比35億円増加の353億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比31億円増加の243億円となりました。

連結自己資本比率は9.09%となりました。

■ 北陸銀行・北海道銀行 <2行合算>

	2行合算		
	2019年 3月期	前 期 比	2018年 3月期
経常収益	1,657	△ 36	1,693
コア業務粗利益	1,257	△ 50	1,307
経費(臨時処理分を除く)	865	△ 22	888
コア業務純益	391	△ 28	419
与信費用	46	40	5
経常利益	367	35	331
当期純利益	266	25	240

2行合算では、経常収益は前期比36億円減少の1,657億円となり、当期純利益は前期比25億円増加の266億円となりました。

北陸銀行では、経常収益は前期比9億円減少の902億円となり、当期純利益は前期比1億円減少の155億円となりました。

北海道銀行では、経常収益は前期比27億円減少の755億円となり、当期純利益は前期比27億円増加の110億円となりました。

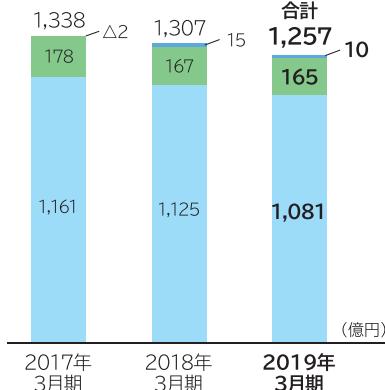
	北陸銀行		
	2019年 3月期	前 期 比	2018年 3月期
経常収益	902	△ 9	911
コア業務粗利益	691	△ 20	712
経費(臨時処理分を除く)	464	△ 10	475
コア業務純益	226	△ 10	237
与信費用	28	9	18
経常利益	221	△ 19	241
当期純利益	155	△ 1	157
自己資本比率	8.79%	△ 0.23%	9.02%

北海道銀行		
2019年 3月期	前 期 比	2018年 3月期
755	△ 27	782
565	△ 29	595
401	△ 11	413
164	△ 17	182
17	30	△ 12
145	55	89
110	27	82
8.69%	△ 0.59%	9.28%

損益の状況

■ コア業務粗利益<2行合算>

- その他
- 役務取引等利益
- 資金利益



資金利益 1,081億円

貸出金利息、有価証券利息配当金の減少により、前期比43億円減少しました。

役務取引等利益 165億円

ローン保険料、ローン保証料の増加により、前期比1億円減少しました。

その他 10億円

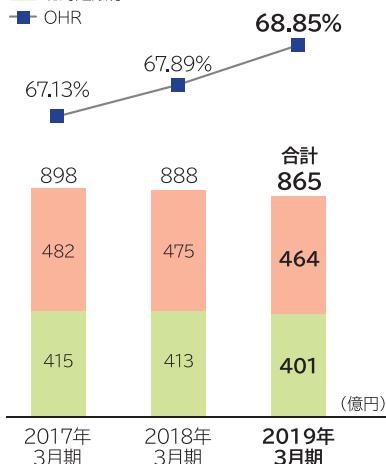
貸出債権売却益の減少により、前期比5億円減少しました。

コア業務粗利益 1,257億円

上記の結果、前期比50億円減少しました。

■ 経費<2行合算>

- 北陸銀行
- 北海道銀行
- OHR

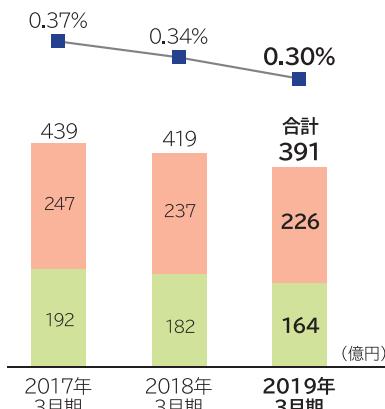


経費 865億円

人件費および物件費が減少したことから、前期比22億円減りました。

■ コア業務純益<2行合算>

- 北陸銀行
- 北海道銀行
- ROA



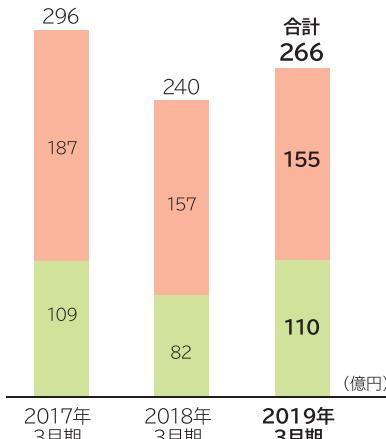
コア業務純益

391億円

経費は減少しましたが、コア業務粗利益の減少により、前期比28億円減少しました。

■ 当期純利益<2行合算>

- 北陸銀行
- 北海道銀行



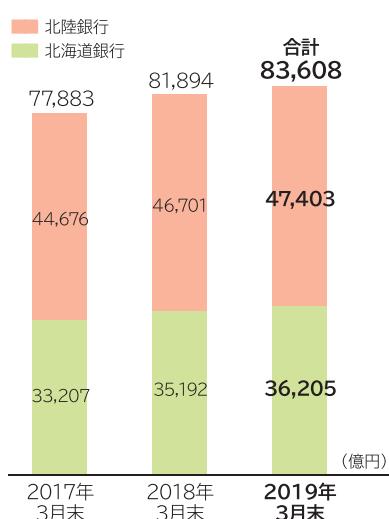
当期純利益

266億円

国債等債券損益の増加などにより、当期純利益は前期比25億円増加しました。

貸出金・預金等の状況

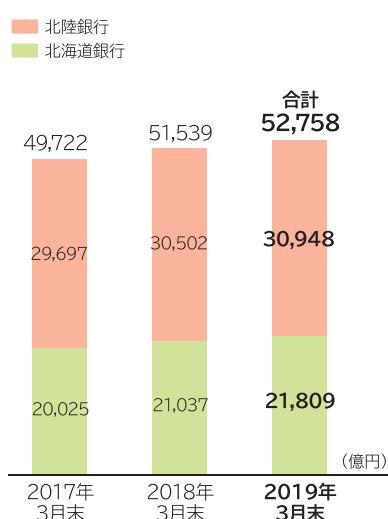
■ 貸出金<2行合算>



**貸出金
8兆3,608億円**

個人ローンを含む
中小企業等向け貸出
の増加により、前期末
比1,714億円増加し
ました。

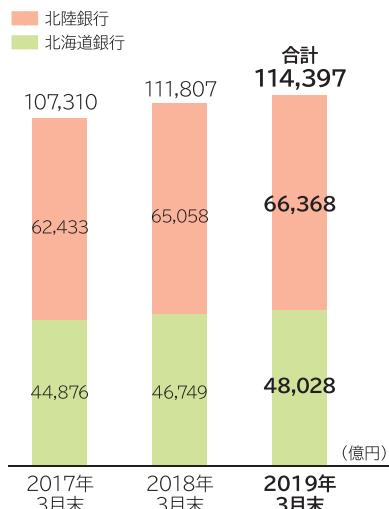
■ 中小企業等貸出<2行合算>



**中小企業等貸出
5兆2,758億円**

地域の資金需要を
積極的に取り込んだ
結果、前期末比1,218
億円増加しました。

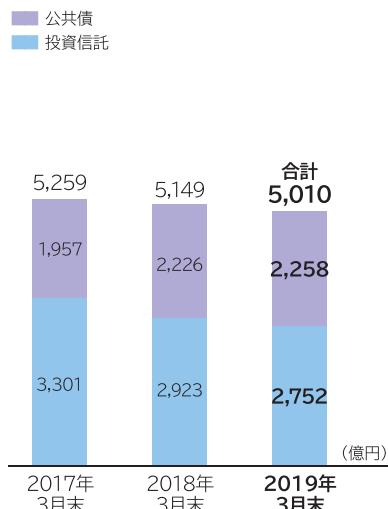
■ 預金(含む譲渡性預金)<2行合算>



**預金(含む譲渡性預金)
11兆4,397億円**

個人預金、法人預
金とも順調に増加し、
前期末比2,589億円
増加しました。

■ 個人預かり資産(公共債、投資信託)<2行合算>



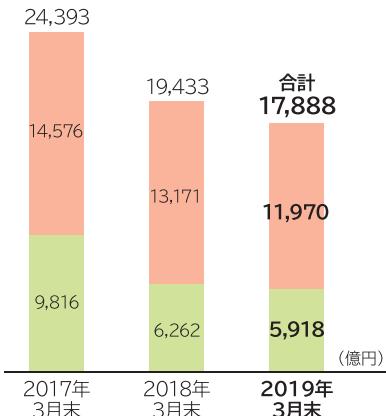
**個人預かり資産
5,010億円**

投資信託が減少し
たことから、前期末比
138億円減少しました。

有価証券残高・健全性の指標

■ 有価証券残高<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行

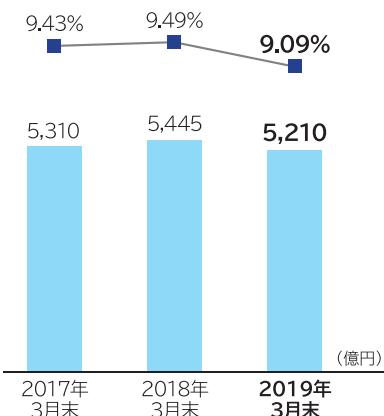


有価証券残高
1兆7,888億円

有価証券残高は、金利情勢を勘案して円債の新規購入を控えて償還が進んだことに加え、米国の金利変動を受けて外国証券の残高を圧縮した結果、前期末比1,544億円減少しました。

■ 自己資本比率<FG連結>

■ 自己資本
■ 自己資本比率



自己資本比率
9.09%

劣後債の返済による自己資本の減少により、前期末比0.40ポイント低下しました。

■ 金融再生法開示債権<2行合算>

■ 要管理債権
■ 危険債権
■ 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
■ 開示債権比率



金融再生法開示債権
1,546億円

前期末比71億円増加しました。

開示債権比率
1.79%

前期末比0.05ポイント悪化しました。

■ 格付

格付投資情報センター
R&I



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」の格付も取得しています。

銀行持株会社



■ 資本金 708億9,500万円

■ 発行済株式 普通株式 132,163,014株
第1回第5種優先株式 107,432,000株

■ 取締役の役職および氏名 (2019年6月21日現在)

役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	庵 栄伸	取締役	加地 賢幸
取締役副社長	笠原 晶博	取締役監査等委員(常勤)	北川 博邦
取締役	麦野 英順	取締役監査等委員(社外)	川田 達男
取締役	兼間 祐二	取締役監査等委員(社外)	中川 了滋
取締役	中澤 宏	取締役監査等委員(社外)	眞鍋 雅昭
取締役	小林 正彦	取締役監査等委員(社外)	鈴木 伸弥

■ 従業員の数 専任者12名

■ 設立日 2003年9月26日

■ 各組織の構成および役割等

取締役会 グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。4名の社外取締役を選任し、経営から独立した視点を取り入れ、監督機能を強化しています。

監査等委員会 監査の方針・計画・方法や、選定監査等委員の職務の遂行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行の監査や、監査等委員以外の取締役の選任・報酬等についての意見の決定等を行います。

コーポレート・ガバナンス委員会 社外取締役および常勤監査等委員で構成し、当社グループの持続的な成長および長期的な企業価値の向上を目的に、社外取締役間の情報交換や認識共有、当社重要事項への助言を行います。

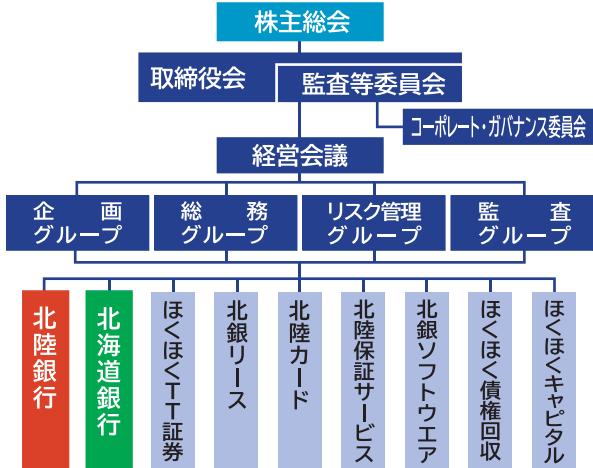
経営会議 当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

名称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ

本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号

業務の内容
1. 傘下子会社の経営管理および附帯業務
2. その他銀行法が認める業務

■ 組織図 (2019年6月21日現在)



■ グループ各社の内容

(株) 北陸銀行 ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っています。

(株) 北海道銀行 証券会社として、株式や投資信託、債券等、幅広い運用商品の提供を行っています。

ほくほくTT証券(株) 証券会社として、株式や投資信託、債券等、幅広い運用商品の提供を行っています。

北銀リース(株) リース業務、代金回収業務などを行っています。

(株) 北陸カード JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などをを行っています。

北陸保証サービス(株) 住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っています。

北銀ソフトウエア(株) コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などをを行っています。

ほくほく債権回収(株) 銀行の個人向けローン管理業務受託、地域の企業再生支援およびグループ内の債権回収・整理業務などをを行っています。

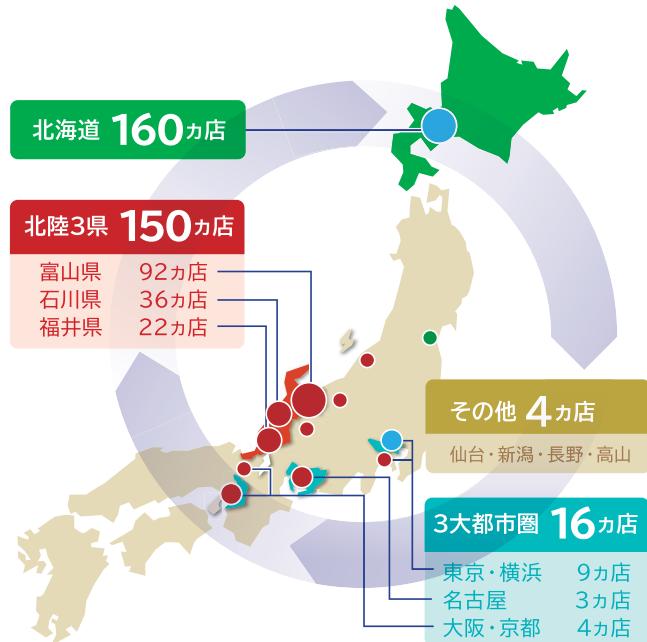
ほくほくキャピタル(株) 株式公開の立案・アドバイス業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などをを行っています。

ネットワーク

(2019年3月末現在)

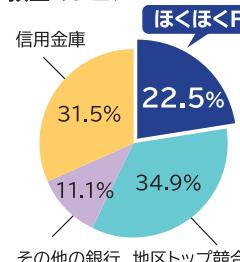
広域ネットワークを活かした情報・サービスでお客さまをサポート

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献していきます。

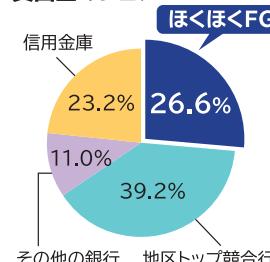


北海道内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア

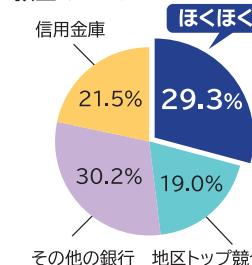


貸出金のシェア

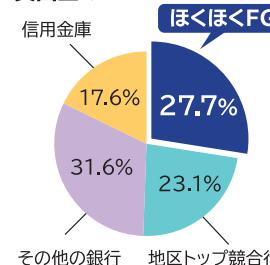


北陸3県内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア



貸出金のシェア



※シェアは、2018年9月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などにより当社にて作成。

※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引先の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めています。

- ①ニューヨーク駐在員事務所
- ②ロンドン駐在員事務所
- ③バンコク駐在員事務所
- ④シンガポール駐在員事務所
- ⑤上海駐在員事務所
- ⑥大連駐在員事務所
- ⑦瀋陽駐在員事務所
- ⑧ウラジオストク駐在員事務所
- ⑨ユジノサハリンスク駐在員事務所

海外駐在員事務所 9拠点

北陸銀行 6 北海道銀行 3



ほくほくフィナンシャルグループは、企業の持続的成長のために必要とされるESG（環境、社会、ガバナンス）や、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）等の視点を踏まえて、CSR基本方針のもとそれらの課題に対応した活動に積極的に取り組み、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指します。

その一環として2019年4月1日「ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言」を表明し、「CSR活動における取り組み重点テーマ」を制定しました。

ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会のSustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。

2019年4月1日



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

取締役社長 鹿児 伸



北陸銀行 の取り組みを
ご紹介します!

北海道銀行 の取り組みを
ご紹介します!



持続可能な地域社会の実現

- ◆SDGsやESG等の課題を踏まえた建設的対話の促進等による地域金融機関としての責任ある投融資への取り組みやスタートアップ企業や地域における成長企業への積極的な支援を通じた安定的な雇用創出への取り組み、各種自治体やお客さまとの連携の促進により持続可能な地域社会の実現に貢献する
- ◆再生可能エネルギーの利用促進、温室効果ガス排出量の削減等環境負荷の低減に努める



北陸銀行

古民家活用ワークショップの開催

9月～3月、富山市と小松市において、古民家などの歴史的建築物を活用した地域活性化支援で連携する西日本旅客鉄道㈱および㈱NOTEとの3社で古民家活用ワークショップを開催しました。本ワークショップは古民家等を活用し「観光振興」「雇用創出」「空き家対策」などの地域課題を解決することを目的としています。富山会場、小松会場合わせてのべ約140名が参加し、古民家を利活用したまちづくり事業を実施する上での基本的な流れとプロセスを学び、仮想物件や実在する物件を題材に事業計画の策定をワークショップ形式で実践しました。



北海道銀行

(学)日本体育大学、(学)東日本学園北海道医療大学および当別町との「4者による連携・協力に関する協定」を締結

11月、日本体育大学、北海道医療大学および当別町との間で、「4者による連携・協力に関する協定」を締結しました。日本体育大学と北海道医療大学は、相互のノウハウを生かしスポーツ分野等の研究を進めるとともに当別町内での合宿誘致等を行ない定住・交流人口の増加を目指しており、3者相互の連携に協力することで地域活性化に取り組んでまいります。



ほくほくフィナンシャルグループのESG・SDGsへの取り組み

北陸銀行

寄贈型ESG、SDGs私募債取り扱い

11月、「<ほくぎん>寄贈型ESG私募債」および「<ほくぎん>寄贈型SDGs私募債」の取り扱いを開始しました。お客様の私募債の発行額の0.2%までの金額相当を寄贈品または現金で北陸銀行が寄付するものです。ESG私募債では寄贈品(教育備品、福祉関係機材、環境配慮資材等)を教育機関や富山県に寄付します。SDGs私募債では現金を慈善団体や基金、または富山市、白山市等が推進するSDGsモデル事業等に寄付します。本商品を通じて地域のお客さまの多様な資金ニーズに応えるとともに、ESGやSDGsの趣旨に沿った地域貢献活動をはじめ社会・地球の持続可能性に取り組んでまいります。



北海道銀行

X-Tech Innovation2018を開催

12月、急速に発展する様々なテクノロジーに着目し、業界・業種を横断する新しいサービス・ビジネスアイデアを広く募集するビジネスコンテストを開催しました。

本コンテストは、昨年度共同開催したふくおかフィナンシャルグループおよび沖縄銀行に七十七銀行が加わり、4行・4地域での開催となりました。

本コンテストを通じてスタートアップ企業のビジネスアイデアの事業化に向けたサポートや既存ビジネスへの活用の可能性を模索し、地域経済の活性化に貢献してまいります。

参加者数 …… 約150名

地区応募件数 …… 24名

最終選考登壇 …… 10社



北海道銀行

「BCP（事業継続計画）策定支援コンサル」を開始

11月、北海道経済産業局および㈱道銀地域総合研究所と連携し、BCP策定支援コンサルを開始し、1月には、取引企業のBCP（事業継続計画）策定や防災対策への取り組みを支援するため「道銀BCP私募債」と、融資商品「事業継続支援資金（災害復旧プラン・BCPサポートプラン）」の取り扱いを開始しました。地域金融機関として道内企業の災害発生時における対応態勢構築をサポートすることで、道内経済の成長に貢献してまいります。



北海道銀行

事業承継対策として経営者・後継者向け婚活支援を開始

2月、結婚相手紹介サービスを展開するマリッジパートナーズ㈱および人材紹介業務を行うヒューレックス㈱と業務提携しました。婚活支援も円滑な事業承継支援につながると考え、後継者不足に関する課題等を抱えるお客様のニーズに対応する体制を整備することで、中小企業の継続的な成長や事業承継を支援し、地域経済の発展に取り組んでまいります。

北陸銀行

なんとの森づくり事業の協力参加について

10月、富山県南砺市遊部自治会が推進する「なんとの森づくり事業」に協力参加しました。本事業は世界遺産「五箇山合掌造り」の屋根に使用する素材の茅不足改善を目的に2015年11月から開始されました。世界遺産を守る同事業の趣旨に賛同するとともにSDGsの趣旨に沿った持続可能な社会の実現に向けて参加協力しており、今回で4回目となります。行員20名と地域住民を含めた約100名が茅苗350株を植栽しました。

ほくほく
FG

ESG、SDGsを踏まえたクレジットポリシーの改定

4月、ESG・SDGsを踏まえたクレジットポリシーの改定を行いました。主業務である融資支援業務においてSDGs、ESG等の社会課題への取組姿勢をグループ全体で共有することで、お客さまと共に価値の創造を目指してまいります。



地域における金融リテラシーの向上

- ◆金融経済教育や金融コンサルティングによりお客さまや子供たちの金融リテラシー向上に取り組み、将来に向けた資産形成や円滑な事業・資産承継を支援する



北陸銀行

中学校・高等学校を対象に 金融経済教育「出前授業」を実施

10月～3月、北陸銀行奨学助成財団では、教育備品の寄贈事業において、寄贈と同時に寄贈対象校となる中学校および高等学校の生徒に対して、寄贈を担当する営業店の支店長が講師となり、金融リテラシーの向上を目的として金融経済教育「出前授業」を実施しました。また、その他希望のあった学校に対しても実施し、べ17校1,002名の生徒が受講しました。



ほくほくフィナンシャルグループのESG・SDGsへの取り組み

北海道銀行

「鷹栖版 ヨノナカテラス」の実施

12月、旭川工業高等専門学校および鷹栖町との連携協定の一環として、高専生が鷹栖町内企業とともに成長戦略づくりを検討・創造していく場「鷹栖版 ヨノナカテラス」を実施しました。

本事業により高専生に地域の魅力に気づいてもらい、若年層の地元就職率の向上へつなげるとともに、地方企業の課題解決を支援してまいります。



北陸銀行

信託業務の兼営の認可取得と取り扱い

3月、信託業務の兼営の認可を取得しました。高齢化社会が進行する中、お客さまの資産承継ニーズは年々高まっています。これまで信託代理店20部店をベースに信託銀行や信託会社に取り次ぐことで、信託サービスを提供しておりましたが、遺言信託や遺産整理の相談が一段と増加してきた状況を踏まえ、銀行本体として信託サービスの提供を開始することを決定しました。

コンサルティング営業部に信託チームを設置し、専門人員を中心となって「遺言代用信託」「遺言信託」「遺産整理」の取り扱いを4月から開始しました。お客さまの資産管理・承継ニーズにワンストップでお応えし、将来にわたり安心してお取引いただける体制を整えてまいります。

ほくほく
FG

エコノミクス甲子園を開催

高校生がクイズを楽しみながら金融・経済に関する知識を習得し、お金との関わり方やライフデザインを考えるきっかけとてもらうことを目的に、毎年12月にエコノミクス甲子園を開催しています。

北陸銀行では富山大会、福井大会の運営を、北海道銀行では、地元の金融機関と共に北海道地区予選大会および北海道大会の運営を行いました。2月に行われた全国大会では、福井代表チームが見事に全国初優勝の快挙を成し遂げました。



健全で強靭な経営基盤の構築

- ◆ステークホルダーとの対話促進により透明性を高め、ガバナンスの高度化や各種リスク管理の徹底、更なるコンプライアンスの強化により強靭な経営基盤を構築する

ほくほく
FG

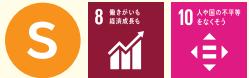
マネー・ローンダリング等防止ポリシーを制定

3月、グループ統一の「マネー・ローンダリング等防止ポリシー」を制定しました。

グループとしてマネー・ローンダリング等防止を最重要経営課題として位置づけ、適切な対応に努めてまいります。

すべてのお客さまにとっての利便性の向上

◆先進的ですべてのお客さまがアクセスしやすく安心して利用できる金融商品・サービスの提供を通じて、更なる利便性の向上に努める



タブレット端末による 生命保険商品の申込受付開始

11月からタブレット端末を利用した生命保険商品の申込受付を順次開始し、2月までに全店展開しました。投資信託でのタブレット端末による申込受付は既に実施しており、今回機能追加したものです。

申込関係書類の削減・ペーパーレス化や、視覚的に分かりやすい画面フローによるお客さまの負担軽減を実現する一方で、ファイデューシャリー・デューティーを踏まえた商品説明や相談時間の充実を図ってまいります。



口座開設＆お手続きアプリ、 かんたん通帳アプリ新登場

2月、『口座開設＆お手続きアプリ』および『かんたん通帳アプリ』の取り扱いを開始しました。

『口座開設＆お手続きアプリ』は、1つのアプリで口座開設や各種お手続きの申込みが可能です。

口座開設時に非対面で本人確認が完結する手続きは、全国の金融機関では例の少ない先進的な取り組みです。

『かんたん通帳アプリ』は通帳機能に加えて、家計簿機能や資産管理機能も搭載しており、北陸銀行の口座残高・移動明細はもちろん、他の金融機関、クレジットカード、証券会社、ポイントカードのポイントなどでお客さまが保有する資産をひとまとめにして確認することができます。また、収入と支出の項目を自動で分類して家計簿も作成できる便利なスマートフォン向けアプリケーションです。通帳機能・資産管理機能・家計簿機能が一つになったアプリケーションの導入は全国の金融機関で初となります。



「J-Coin Pay」、「ほくほくPay」の取扱開始

4月、みずほ銀行が運営するスマートフォン向けアプリ「J-Coin Pay」への口座登録を開始しました。

「J-Coin Pay」は、普通預金口座との間で、チャージや残高の戻し入れを無料かつ即時にできるサービスです。アプリユーザー間であれば無料で送金でき、会食時の精算や会費の集金等にも便利です。

また、「スマホ決済サービス『ほくほくPay』」を2019年9月をめどに取り扱い開始することも決定しております。

「ほくほくPay」は、お客さまが加盟店で代金を支払う際に、加盟店側のタブレット端末等に表示されたQRコードをスマートフォンで読み取ることで、事前に登録した各行の口座から代金を即時に引き落とすことができるサービスです。個人のお客さまはクレジットカードの申込みや事前に電子マネーをチャージすることなく支払いが完了します。加盟店では、タブレット端末にダウンロードした加盟店用アプリに金額を入力するだけで、お客さまとの決済が完了します。売上代金は各行が1日分の売り上げをまとめて最短で翌営業日に入金するため、早期に資金回収できることも特徴です。

今後「J-Coin Pay」「ほくほくPay」を決済に利用できる加盟店を拡大していく等、キャッシュレスとデジタルバンキングの推進を通じて、地域のお客さまの利便性向上に取り組んでまいります。



ほくほくフィナンシャルグループのESG・SDGsへの取り組み

北海道銀行

「口座開設プラザ（地下鉄大通駅出張所）」の開設

3月、お客さまの利便性向上を目的として平日15時以降や土日祝日に窓口での口座開設が可能となる「口座開設プラザ」を開設しました。

本プラザでは、これまで新規口座開設時に郵送でお渡していたキャッシュカードを申込みいただきたその場でお渡しすることができる「キャッシュカード即時交付サービス」の取り扱いを行い、利便性の向上に努めています。



北海道銀行

NISEKO出張所の開設

4月、地域のお客さまやインバウンド観光客との接点拡大を図るため、これまで設置していた「NISEKO事務所」を「NISEKO出張所」として開設しました。

これまでも投資動向にかかる情報収集、観光振興活動への参画・サポートを行いビジネス機会の創出を図ってまいりましたが、更なる開発・交流人口の増加および北海道新幹線の延伸等による地域振興・経済発展が望まれることから、預金業務や融資業務等お客様の幅広いニーズに対応してまいります。



生産性向上に繋がる職場づくり

- ◆多様な人財の活躍推進や育児・介護等の両立支援等の働き方改革推進、将来を担う人財の育成を通じ、働きがい・やりがいを持てる職場づくりに取り組む

ほくほく
FG

健康経営優良法人2019(ホワイト500)の認定

2月、経済産業省が創設した健康経営の顕彰制度「健康経営優良法人2019(ホワイト500)大規模法人部門」を取得しました。昨年に引き続き2度目となります。

今後も引き続き、企業の持続的な成長の実現には従業員の心身の健康が不可欠であるとの見地に立ち、従業員一人ひとりが自らの能力を最大限に發揮できる職場環境を整備し、組織全体のさらなる活性化の実現およびSDGsの達成を目指してまいります。



北陸銀行

ダイバーシティの推進

12月、ダイバーシティ推進のための社員教育の一環として「HOKUGIN DIVERSITY BOOK 2018」を発刊し、全職員に配布しました。

2月、北陸銀行、インテックおよび北陸電力の3社で設立した「輝く!COSMOS project」では、渉外活動等に従事する女性がもっと活躍できる営業スタイルや、元気になれるヒントを見つけてもらおうと、「エイジのチカラ!~営業女子でキャリアアップ~」と題した講演やパネルディスカッションなどを開催しました。



株式のご案内

決算期	毎年3月31日
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日
1単元の株式数	100株
証券コード	8377
上場証券取引所(普通株式)	東京証券取引所(第一部)および札幌証券取引所
公告方法	電子公告により当社ホームページ(https://www.hokuhoku-fg.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株式事務取扱場所	株主名簿管理人・特別口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
お問い合わせ先・郵便物の送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
	みずほ フリーダイヤル 0120-288-324 受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

■株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

① 普通株式をご所有の株主さま

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、 単元未満株式の買取・買増請求等	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に記録されている株式 … 口座を開設されている証券会社 特別口座に記録されている株式 … みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 および みずほ銀行 の本店および全国各支店 (みずほ証券 の本支店でもお取次ぎしております。)
支払明細の発行	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店

② 優先株式をご所有の株主さま

各種ご請求・お手続き	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
------------	-------------------------------

■普通株式年間配当(1株当たり)

(単位:円)

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度 (予定)
42.5	44.0	44.0	44.0	40.0

普通株式配当につきましては、前期比同額の、期末一括配当1株当たり44円とさせていただきました。

※2016年10月1日を効力発生日として、「普通株式10株を1株とする株式併合」を実施いたしました。左記の過去配当実績は比較のため「併合後の1株当たり配当額」となっております。



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ[®]

Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ[®]

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7331

<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行

総合企画部広報CSR室

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7111

<https://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行

経営企画部広報CSR室

〒060-8676

札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel: 011-233-1005

<https://www.hokkaidobank.co.jp/>

本冊子は、読みやすさや見やすさに配慮・工夫された書体（ユニバーサルデザインフォント）を採用しています。
ベジタブルインキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。